

## 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

### ■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	10	「幸福」を中心軸に据え総合計画の実現に向けた行財政運営
計画項目(施策)	32	幸福度指標を活用した施策点検

所管部局	企画総務部
所管部局長の氏名	木村 嘉充

### 1. 総合計画で掲げている目的など PLAN

施策の目的	市民幸せ度アンケートによる幸福度指標の推移により、施策や制度が「市民総幸福の最大化」に向かっているのか点検するとともに、第2次京丹後市総合計画の見直しや予算の重点配分など、施策の優先度を勘案し、幸福度を高める施策体系の再評価を行うことで、総合計画の立体化を図ります。
施策方針(めざす姿)	幸福感をより高めていく行政運営の検証や施策体系の再評価を適時・継続的に行うことで、市民誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福の増進が持続して発展するまちづくりをめざします。

#### 【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考

### 2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧 DO

### CHECK

行政の主な取組み ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
			H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施策 貢献度	今後の 方向性
① 幸福度指標の作成 ○ 幸福の多面的・総合的性格にかんがみ、地域の実情と特色に応じつつ、また、広く視野を持ちながら、市民の幸福度を可能な限り客観的かつ具体的に可視化します。										
1	幸福度指標・事業調査検討事業	企画政策課	394	1,728 (1,728)	市規 定	単費	○	内部 管理	S	現状維 持
幸福のまちづくり研究会を開催(1回)、幸せリーグ(61自治体で組織)への参加										
② 幸福度指標を用いた施策点検 ○ アンケート調査等による幸福度指標の推移により、施策や制度が「市民総幸福の最大化」に向かっているのか点検します。										
<b>計</b>			394	1,728 (1,728)						

#### 【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 誰もが幸福をますます実感できるまちづくりの理念と意義の共有に努めます。
--------	---------------------------------------

#### 【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		

### 3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	幸福感をより高めていく行政運営の検証や施策体系の再評価を適時・継続的に行うことで、市民誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福の増進が持続して発展するまちづくりをめざします。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度	年度	

### 4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価 CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○本市版の「幸福度指標(案)」を策定することにより、「総合計画の立体化」を図るための基礎ができた。 ○「幸せリーグ」で「幸福度の活用」について議論することにより、「幸福のまちづくりを進める上での必要なこと(幸福の理念の成文化、総合計画への位置付け)の研究を進めることができた。	○「幸福度指標」による総合計画の点検や立体化を行う方策について、今後も研究を重ねていくことが重要。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	▲	幸福のまちづくり研究会を開催し、幸福度指標(案)を策定するとともに、京丹後市まちづくり基本条例の一部改正を行い、まちづくりの目標に「誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまちづくり」を加え、これをもとに、第2次総合計画の基本方針において、『「幸福」を中心軸に据え総合計画の実現に向けた行財政運営』を掲げた。一方、まちづくり委員会からの答申を経て、「誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまちづくり推進条例」案を平成26年11月議会へ提案したが、平成26年度中の成立には至らなかった。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	総合計画の各分野の目標の進捗を幸福度指標を活用して点検し、幸福度を高める施策体系の再評価を行うことで、総合計画の立体化を図る	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	10幸福度指標・事業調査検討事業
細事業名	01 幸福度指標・事業調査検討事業			決算書 P.94
総合計画	基本方針	Ⅶ 計画推進のために	計画項目	① 効率的な行財政運営の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
394千円		396千円	2千円	99.4 % 1,413千円
目的	「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、市民の幸福とまちづくりに関する事項（条例化の検討を含む）の調査・研究を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「幸福のまちづくり研究会」を開催し、「幸福度指標（案）」を策定するとともに、全国61の自治体で組織する「幸せリーグ」において、「モデル条例」の検討及び「総合計画」への位置づけについて調査・研究を行った。</p> <p>○幸福のまちづくり研究会（委員数：10人） 29千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員報償（学識経験者） 14千円 14千円×1人×1回</li> <li>・委員費用弁償（学識経験者） 15千円</li> </ul> <p>○その他 365千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員旅費 298千円 （幸せリーグ、事務局、研究会委員（学識経験者）との協議）</li> <li>・消耗品費（幸せリーグ書籍） 34千円</li> <li>・有料道路通行料（研究会委員（学識経験者）との協議） 18千円</li> <li>・幸せリーグ負担金 15千円</li> </ul> <p>《参考》</p> <p>◎住民の幸福実感向上を目指した基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）</p> <p>自治体同士が互いに学び合い、切磋琢磨しながら、行政運営の一層のレベルアップを図ることで、誰もが幸福を実感できる地域社会を築いていくとともに、このムーブメントを全国に広め、地方自治の改革につなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の幸福実感向上を目指した政策などについて、情報及び意見の交換を行う。</li> <li>・検討内容等を発信し、全国の自治体へ効果の波及と互いのレベルアップを図る。</li> <li>・調査研究や意見交換、交流を通じて参加自治体の職員の育成を図る。</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○統計データと意識調査を基にした「幸福度指標（案）」を策定することができた。</p> <p>○「幸せリーグ」で「幸福度の活用」について議論することにより、「幸福のまちづくり」を進める上での必要なこと（幸福の理念の成文化、総合計画への位置づけ）の研究を進めることができた。</p> <p>○「幸福度指標」による総合計画の点検や立体化を行う方策について今後も研究を重ねていくことが重要。</p>			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			